

学校法人 加計学園

平成17年度事業報告

【 倉敷芸術科学大学 】

I. 事業の概要（全般）

《申請関係》

- (1) 平成18年度に向けてコンピュータ情報学科（80名→50名）と生命科学科（110名→90名）の2学科の定員減し、新学科として生命科学部に生命動物科学科（40名）の設置、健康科学科（50名→60名）の定員増を行いました。

《教育研究活動》

- (1) **県内15大学と岡山県、経済同友会の産学官で、「大学コンソーシアム岡山」を創設する準備会議で検討を重ね、平成18年度より開設することが決定されました。コンソーシアムでは、単位互換、キャリア講座、社会人向けシティカレッジを行います。（新規）**
- (2) 倉敷古城池高校、玉島高校、高松農業高校との高大連携事業を実施など大学の情報発信に努めました。
- (3) 退学者減少のための一環として、必ずチューターが面談を行い、退学に至る経過を聞き取るなど退学希望者への指導を行った結果、少しであるが退学者が減少しました。

《施設・設備関係》

- (1) 学生の満足度を少しでも上げるため、授業の空き時間、昼食時に憩える場所として学生控室を建築、福利厚生の実施に努めました。
- (2) 平成18年度新設の生命動物科学科の実習施設建築、機械器具、図書を整備を行いました。
- (3) 平成16年度改組した健康科学科については、資格取得のために実習室の建築・機器の整備を年次計画に基づき行いました。

《人事》

- (1) 平成17年4月1日付で学長に添田喬氏、副学長に川上雅之氏、芸術研究科長（兼通信制）に田中孝氏、芸術学部長に田村鎮男氏、産業科学技術研究科長（兼通信制）に藤原敏勝氏、産業科学技術学部長（兼通信教育課程）に塩飽直紀氏、生命科学部長に岡田賢治氏、人間文化研究科長（兼通信制）・国際教養学部長（兼通信教育課程）に妹尾護氏が就任しました。

《組織関係》

- (1) 教育研究支援センターを設置し、学生の教育支援に力を入れています。

II. 大学の概要

1. 学生の定員現員数

(5月1日現在)

研究科・学部・学科等		定員数		現員数				
		入学定員	収容定員	1年	2年	3年	4年	合計
大学院	芸術研究科(修士)	20	40	7	13	—	—	20
	" (博士)	4	12	2	4	1	—	7
	産業科学技術研究科(修士)	16	32	6	7	—	—	13
	" (博士)	4	12	3	1	1	—	5
	人間文化研究科(修士)	15	30	5	9	—	—	14
	計	59	126	23	34	2	—	59
大学院 (通信)	芸術研究科(修士)	10	20	3	4	—	—	7
	産業科学技術研究科(修士)	20	40	4	0	—	—	4
	人間文化研究科(修士)	30	60	5	7	—	—	12
	計	60	120	12	11	—	—	23
芸術学部	美術学科	40	180	42	41	50	59	192
	映像・デザイン学科	40	80	45	56	—	—	101
	工芸・デザイン学科	40	190	51	40	46	49	186
	計	120	450	138	137	96	108	479
産業科学技術学部	コンピュータ情報学科	80	320	58	77	109	75	319
	生命化学科	—	160	—	—	115	56	171
	起業学科	40	80	36	37	—	—	73
	計	120	560	94	114	224	131	563
国際教養学部	教養学科	—	180	—	—	61	55	116
	起業学科	—	100	—	—	33	43	76
	計	—	280	—	—	94	98	192
生命科学部	生命科学科	110	220	145	128	—	—	273
	健康科学科	50	90	74	57	—	—	131
	計	160	310	219	185	—	—	404
産業科学技術学部 (通信)	コンピュータ情報学科	200	900	10	10	9	—	29
	起業学科	—	300	—	2	—	—	2
	計	200	1,200	10	12	9	—	31
国際教養学部 (通信)	起業学科	—	300	—	2	2	—	4
	留学生別科	30	30	8	—	—	—	8
合計		749	3,376	504	495	427	337	1,763

(単位：人)

2. 学年暦

	春期休業	入学宣誓式	夏期休業	冬期休業	学年末休業	学位記授与式
倉敷芸術科学大学	4月1日 ～4月4日	4月5日	8月1日 ～9月23日	12月20日 ～1月7日	3月4日 ～3月31日	3月23日

Ⅲ. 各事業の概要

1. 教育・研究活動の進捗状況

- (1) 一人ひとりの学生の視点に立った指導を充実し、退学者の減少に努めました。
- (2) 学部・学科の改組に伴う大学院の再編について検討しました。
- (3) 産学官連携、高大連携を通じて、大学の社会的使命を果たすと共に、外部資金の獲得に力を入れました。

入学者数・卒業者数等は下表のとおりです。

入学者数一覧 (5月1日現在)

		入学者	留学生	社会人
大学院	博士	5	0	2
	修士	18	4	0
大学院(通信制)		12	0	7
学部		451	13	2
学部(通信教育課程)		7	0	7
別科		7	7	0

(単位：人)

卒業者数等一覧

		卒業 者	修了 者・ 退 学 者	満 期 退 学 者	除 籍 者	休 学 者	留 年 者
大学院	博士	1	1	0	0	0	0
	修士	26	1	0	1	0	1
大学院(通信制)		8	0	0	0	0	3
学部		319	60	0	23	9	17
学部(通信教育課程)		0	0	0	1	1	0
別科		8	0	0	0	0	0

(単位：人)

2. 学生の募集・広報

- (1) 平成17年度志願者数1,329名で、4年連続志願者増を達成した昨年並みの志願者を確保しました。
- (2) 従来からの中四国、近畿、北九州に加えて静岡、南九州の高校、予備校、美術学校を年3回程度こまめに回り情報提供、情報交換を行いました。生命動物科学科増設にあたり広範囲及び都市圏の広報活動強化を図りました。(新規)
- (3) 本学ホームページのトップページを毎月改訂、あわせて学科オリジナルサイトの充実を押し進める等e-広報の充実を図りました。(新規)
- (4) 昨年に引き続き積極的に高校内説明会(70校)、業者主催会場説明会(82回)、本学主催会場説明会(15会場)に参加、年3回のオープンキャンパス、個別の学内見学などで、受験生に直接的なアプローチを実施しました。
- (5) 大学案内では新設学科を表紙裏に配置、より効果的な特色を打ち出した。(新規)
- (6) 平成17年度外国人留学生在が入国審査で学費支弁能力・入学資格で問題とされ不合格とされたケースがあるので、今年度は広島入国管理局に事務局、留学生室、企画入試室の責任者が出向き、本学の指導体制等を説明しました。これにより、不許可が減り18年度の留学生受入がスムーズに進めることができました。

3. 就職活動状況

(1) 本年度は特に個人指導の時間を多くとり就職指導課で相談をうけた学生すべてを就職させることができました。その結果内定率は95パーセントになり、また、就職率（卒業生数から進学者数を引いたものを分母とし、就職内定者数を分子とした割合）も5%上昇させることができました。

留学生は過去最高の26名が日本企業に就職することができ、企業からの継続求人も増加しています。その他9名が日本の大学院へ進学、1名がアメリカへの留学を希望しています。

就職を希望しないに分類される学生には、専門学校進学者8名、留学2名、研究生・科目等履修生7名、非常勤講師・臨時採用教員3名、公務員臨時採用者1名が含まれており、作家を目指す学生も9名いるなど「就職しない学生」は減少してきております。

(2) 3年次生を対象とした就職ガイダンスを年間15回実施しました。

(3) SPI模擬試験を2回開催しレベルアップにつとめました。

(4) 学内就職懇談会を2月15日に111社の企業を招き実施しました。

(5) 加計グループ合同就職懇談会を福岡、東京、大阪、広島会場で実施し、各会場共に昨年以上の参加者があり、多くの企業担当者と教職員の情報交換を行うことができました。

(6) 新入生全員にマイキャリアノートを配付し、「人生と仕事Ⅰ」の科目において将来設計をイメージでき、自己啓発を深め仕事に関する意識レベルを上げることができました。

「人生と仕事Ⅰを受講したことは、あなたの今後のキャリアデザインに役立ったとおもいますか？」の設問には4.11（満点を5とする）の回答があり82.2パーセントの受講学生が満足度が高まったという結果を得ることができました。

(7) 就職関連科目の受講状況

「人生と仕事Ⅰ」履修登録者 前期 241名、後期 87名、合計 328名
 「人生と仕事Ⅱ」履修登録者 前期 123名、後期 113名、合計 236名
 「キャリア・ラーニング」履修登録者 178名

(8) 就職率及び就職率の推移

区分	年度	修了者数	就職希望者数 A	就職			就職しない数	進学者数 (大学院)	不明
				就職 B	未就職	就職率 B/A			
大学院	15	38人	18人	17人	1人	94%	15人	5人	0人
	16	39	11	10	1	91	24	4	12
	17	26	12	9	3	75	10	4	0
学部	15	352	185	157	28	85	135	32	0
	16	336	201	187	24	93	113	22	0
	17	315	191	182	9	95	87	37	0

4. 財務関係

主な収入及び支出

(単位：千円)

年 度 科 目	16年度決算額	17年度決算額
学 納 金 収 入	2,627,601	2,656,661
補 助 金 収 入	729,808	564,997
そ の 他 収 入	113,844	94,980
帰 属 収 入 合 計	3,471,253	3,316,638
基 本 金 組 入 額 合 計	△ 234,019	△ 29,504
消 費 収 入 の 部 合 計	3,237,234	3,287,134
人 件 費	1,924,176	1,949,997
教 育 研 究 経 費	1,348,056	1,343,680
管 理 経 費	240,351	254,000
そ の 他 支 出	18,033	23,663
消 費 支 出 の 部 合 計	3,530,616	3,571,340
当 年 度 消 費 収 入 超 過 額	△ 293,382	△ 284,206

施設設備関係

- (1) 7号新館増設（生命科学部生命動物科学科） 生命動物科学科の教育用動物病院施設を整備しました。
- (2) 24号建設（生命科学部健康科学科実習棟） 健康科学科トレーニング等実習施設を整備しました
- (3) 25号建設（学生控室）授業時間の休憩時、昼食時などに憩える施設を整備しました。
- (4) 4月開設の生命動物科学科実習用に動物診療用や検査用の機械器具を購入しました。
- (5) 健康科学科総合型トレーニング・体力測定システムを購入しました。
- (6) 3Dプロッタ、ビデオカメラ、ビデオプロジェクター、小型真空グローブボックス、メールサーバハードディスクなど購入しました。
- (7) 学生控室机、椅子の購入しました。

○収支改善対策の具体的取組と効果

- (1) 年度計画で示した入学生の確保については、定員割れしたコンピュータ情報学科並びに定員の多い生命科学科の定員を、新学科の生命動物科学科と入学希望の多い健康科学科に振替えたことにより、志願者は微減したものの、昨年度以上の入学者が確保できました。

留学生についても17年度外国人留学生が入国審査で不可となったことから今年度は広島入国管理局に出向き、本学の指導体制等を説明した結果昨年より多く許可されました。

退学者の減少については、チューターが面談や経過聞き取り、退学引き止めで、少しでも退学が減りました。これらは17年度の収支改善には余り効果がありませんが、18年度以降に効果が現れるものと思います。